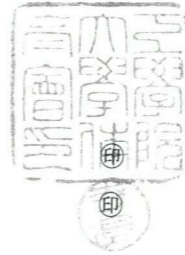


2023年度 工学院大学体育会 方針

工学院大学2023年度体育会
会長 寺島壮太郎



1. 存在意義

体育会とは、体育会系部活動と体育会系同好会及び役員会による総体である。本会は工学院大学体育会系の部活動及び同好会を統合し、体育会活動を通じた学園生活の充実・向上、並びに体育会系の部・同好会の発展を意義とする。

2. 方針

2023年度体育会は部活動を通じ、本学の活性化を図ることを目的として活動する。その為、体育会役員をはじめ、各部活動・同好会との連絡の強化と目的・現状の共通理解を徹底する。また会則の変更を行い、役員の一部活動生活に柔軟に対応することと、次年度以降への引継ぎを円滑に行うことを前提とした活動を主に目指す。その上で、体育会系部活動・同好会を通じ、本学の活性化に貢献する。

3. 活動

「体育会役員同士の連携の強化」

2022年度委員から2023年度委員への引継ぎが円滑に行えていない部署が多く見受けられるため、2023年度体育会委員は2024年度委員に引き継ぐことを見越して、データ管理などの活動を行う。

「新入生歓迎会」

体育会の認知の拡大と体育会委員の確保を目的とし、新入生を積極的に勧誘する。

「如欄(JORUN)作成」

新入生向けに発行される体育会の広報誌である。本会所属の各部活の活動を分かりやすく掲載し、体育会の魅力を伝える。前後期ともに、よりよい写真を撮ることを本会所属の各部に促し、本会役員の一部員により所属団体の撮影を担当。活動日、写真等の詳しい情報を伝えることで、新入生が自分にあった部活を探す事をサポート。新入生が参考にする情報源とし、新入部員数の増加を促進し、体育会の活性化を図る。

「体育祭運営」

学生がスポーツを通じ、健康かつ充実した学園生活の促しを目的とする。学園生活でなくなりがちなのスポーツをする機会の提供、学生間の交流を深める。体育祭の活性化のため、飲み物の無料配布、掲示板・ポスター・ビラによる宣伝活動、魅力的な賞品を提案。参加者にとってより良い大会にするため、スピーカーによるアナウンスや場内掲示板を設置し、スムーズな運営ができるよう努める。種目数を減らすことで、参加のハードルを下げ、多くの参加者に満足してもらうことを目指す。

「東京マラソンボランティア参加」

東京マラソンに出場するランナーへの、工学院大学新宿キャンパスの開放を予定している。トイレや着替え、準備運動に使っていただき、ランナーをサポートし本学のPRを行う。

「定例会」

月1回の体育会の全体会議である。各部活動との連携のため、役員全体の情報共有や体育会の活動に関する会議を行い、各部活の活動がより円滑に行われるよう努める。

「体育会総会」

体育会所属団体の代表が集まり、重要な決議・報告を行う集会である。体育会全体の連携の強化を図る。

「試合着の統一」

本会所属の各部活動の練習や試合で着用されているユニフォームを、工学院大学のスクールカラーである「青」「黄」に統一するというプロジェクトである。それにより、工学院大学体育会として一体感を持たせることができる。また、体育会というブランドとして、本学のPRにつながる。例として、22年度はバレーボール部で新しくユニフォームを製作した。

「ブランドグッズ製作」

工学院大学のスクールカラーである「青」「黄」と本会提唱ロゴのあるグッズを製作するプロジェクトである。工学院大学公認ブランドを目指し、知名度を上げることにより、新入生の興味を引く大学のイメージを作り、新入部員数の増加を図る。

以上を2023年度工学院大学体育会の方針とする。